

竹下復興大臣ぶら下がり記者会見
(天王洲マルシェ)

(平成27年7月27日(月) 14:11~14:13 於) 天王洲シーフォートスクエア)

1. 発言要旨

暑い中、大勢のお客さんに今日もおいでいただきまして本当にありがたいなど。そして東京商工会議所の皆さん方もそうでありますし、今日はJTBの皆さん方にもお力添えをいただいておりますが、本当にたびたびこういう形でマルシェという形、あるいは社内の販売、いろんな形で、「もう東北忘れないぞ」ということを心を喚起していただいております、本当にありがたいなど、こう思うところであります。

しかし、まだまだ被災地は復興の真ただ中にあるところであります、今日は特にJTBの佐々木さんをお願いしたいのは、こうやってマルシェで食う・食べるじゃなくて、どんどん観光客を被災地へ送り込んでいただきまして、まず行っていただいて、現地で食べていただいておいしいなど、そうやってリピーターになっていただくというのが一番いいと思いますので、是非これからもよろしく願いいたします。

2. 質疑応答

(問) 本日、今福島を味わわれたと思うのですけれども、お味をちょっと一言お願いします。

(答) 甘いよ。ミスピーチの方にもらったから特に甘かった。

(問) これから風評被害もまだあるので、この復興庁としての役割、重要だと思うのですけれども、こういったこと取り組まれていかれますか。

(答) 風評被害をもう、まず事実をしっかりと明らかにすること、そしてそのリスクコミュニケーションというのですか、情報をしっかりとお伝えすること。だけれども、じゃ、それだけでいいかというのはなかなかそれだけで問題解決するわけではありませんので、もう腰据えて、長い目で1回、2回の勝負じゃなくて、しっかりと風評被害を乗り越えていかなければ。これを乗り越えなければ福島の復興はないですから。我々は何としてもこれは乗り越えなきゃならん課題だと、こう思っております。

(以 上)